

株中央歯科補綴研究所

自ら治療を選択できる「ジルコニア選択のススメ」

歯科医院に通う患者が自らの治療法を選択し、歯科技工所を選ぶことができる、画期的なウェブサイトがある。平成元年（一九八九）の設立、今年で創業二十九年目を迎える歯科技工士集団、株式会社中央歯科補綴研究所が運営する「ジルコニア選択のススメ」（www.zirconia.co.jp）だ。

ジルコニアとは、人工ダイヤモンドとしてアークセサリーに使われる白いセラミックス（金属酸化物を熱によって焼き固めた焼結体）でできた材質のことで、数あるセラミックスの中でも、特に靱性（物質の粘り強さ）が高く、強くて丈夫な素材だ。さらに、金属に比べてアレルギーも起こしにくいので骨の代替素材として人工関節に使われるなど、医療の現場で活躍している。

日本では平成十七年（二〇〇五）に薬事法の認

可を受け、被せものや差し歯などの歯科材料としても今、熱い注目を集めている。

この「ジルコニア選択のススメ」では、新世代の歯科素材としてジルコニアの優位性が綴られ、自らの治療にジルコニアを使いたいという患者のために、ホームページ上に「歯科補綴物製作依頼希望書」の頁を設けている。患者はその頁を印刷し、署名の上、歯科医院に提出することで、その意志を示すことができるというものだ。新サイト開設の意義について、木村社長はこう語る。

「当社は創業以来一貫して、患者様の『素敵な笑顔と健康を守る』ために、歯科医の先生方と共に技術の研鑽に努めてきたが、一方で患者様は治療法の選択肢や歯科技工所の優劣について知る機会に恵まれていなかった。患者様が歯科医を選べる

のと同様に、『治療法や技工所を選べる道も提供すべきではないか』との発想からこのサイトを開設した。業界初の試みだが、これが歯科医療の構造改革の突破口になればと考えている」

患者が直接歯科技工所を選ぶことができるようになる。これは、創業以来歯科技工士の職場環境の改善を願い、経営の観点から技術の向上、効率化を進め、人材育成にも真摯に取り組んできた同社だからこそこのテーマだ。

同社では薬事法の認可前からこのジルコニアに着目。欧州研修を重ねるなど、いち早く加工技術やノウハウを吸収し、他社に先駆けて最新鋭のCAD/CAMシステムを導入、補綴物の生産効率・品質の安定性を追求する投資を重ねてきた。

自社製作のジルコニアを使った補綴物について、「ダイヤモンドクラウン」という商標登録を取得している。また大手材料メーカーの協力の下、従来のジルコニアでは再現出来なかった自然な透明感を持つウルトラトランス・ジルコニア材料を



社長 木村 正 きむら なおし

昭和三十七年（一九六二）十二月二十三日生まれ、埼玉県出身。昭和六十二年（一九八七）二十四歳で独立開業以来二十九年間代表取締役を務める。

開発し、前歯にも適した「ダイヤモンドクラウン・UT」の販売を今秋から開始する。美しさと硬さの象徴である「ダイヤモンド」の名を冠したのは、より多くの人に「よく噛める美しい義歯」を知って欲しいという強い思いの表れだ。

その思いは同社従業員にも確実に伝わっている。オフィス兼作業所を訪れると、並いる技工士たちの明るい笑顔と、はきはきとした挨拶に出迎えられる。歯科技工士の業界は「職人の世界」と言われるが、同社はその職人の技術と、企業としての社会性を兼ね備えた稀に見る技工所といえる。

会社データ

本社所在地 東京都目黒区自由が丘 二一三二一ハイブ
リッジビル 2F
電話番号 〇三（三七二五） 一九九五
設立年月 平成元年（一九八九）九月
資本金／社員数 一千万円／三十名
売上 高 二億三千万円
事業内容 歯科技工、補綴物製作
ホームページ <http://www.chuo618.com>